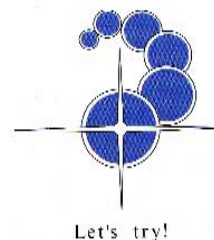


進路だより第7号

令和元年12月11日(水)



彼れを知り己れを知らば、百戦して殆ふからず。(『孫子』)

11月に行われた進研模試の結果がわかりました。前回行われた7月の進研模試の結果なども振り返りながら、1月に行われる進研模試へ向け、実践力を伸ばしましょう。

1月の進研模試は1月18日、19日に行われます。年末年始をはさみ忙しいため、学習時間の確保は意識的に行わなくてはなりません。今日から12月24日(火)までの期間、冬季講座の4日間、1月8日(水)から1月17日(金)の期間と大きくⅢ期に分け、それぞれの期間に集中して取り組む教科・科目と、具体的な問題演習の計画を立てて、実力アップを図ってください。

15期生	7月進研	11月進研	7月との差
3教科総合	58.7	56.9	▲1.8
国語	57.3	55.4	▲1.9
数学	57.8	55.1	▲2.7
英語	57.2	57.7	0.5



14期生	4年7月	4年11月	4年1月	5年7月	5年11月	7月との差
3教科総合	57.2	56.1	57.6	58.1	57.8	▲0.3
国語	54.1	52.1	55.1	54.0	54.8	0.8
数学	55.7	56.5	55.7	57.2	56.8	▲0.4
英語	58.4	56.5	58.8	58.3	58.3	0
世界史					55.3	
日本史					54.3	
地理					56.2	
化学基礎					59.4	
生物基礎					61.6	
物理					57.2	
化学					57.7	
生物					55.9	
5教科総合					57.8	

初めての5教科の模試になっての成績です。国語、数学、英語、社会、理科すべてが大切！次も頑張ろう。

英語科より英語検定について

令和3年度の入試から導入される予定であった『英語外部検定』の英語成績提供システムは延期されました。しかし、今までと同様に、各種英語検定の成績などを活用する大学も少なくなく、皆さんは積極的に英語検定などを受けてください。延期されたのは成績提供システムだけです。

1 1月模試を終えて

今回の模試では3教科(国・数・英)で偏差値60を超すように努力しましょう。多くのみなさんが国公立大学を志望しています。国公立大学に合格するために必要な基礎学力として譲れないラインが偏差値60です。

高校3年0学期

5年生については、これからが大切な時期です。全国のライバル達の学習時間は確実に増加していきます。4月から最上級生となり、学校行事、部活等のリーダー学年として、忙しい日々が6月半ばまで続く事を考えて、12~3月に学習時間を増加させるのです。「高校3年0学期」とは、4月から6月半ばまでの学習時間が少なくなる時期を見据えて、その前の時期に学習時間を確保しようとして、名付けられたものです。

模試の偏差値について

模試の偏差値の出方は、模試対策のあり方が直接関係しますが、普段の学習時間との相関関係が大きいです。次のターゲットは1月の進研模試です。年末までに配付される過去問を解いて、模試に対応する力を養成すると共に、基礎力も固めていきましょう。

5年生の11月模試からは、理科と地歴も加わりました。地歴は全体では偏差値がやや低いので、今回の模試に向けて過去問や問題集でしっかり対策をとっておいてください。国公立大学を目指す場合は、理科・地歴も含めて全教科の偏差値が重要です。国公立大学合格レベルの偏差値との差はいずれ埋めなくてはなりません。特に地歴は時間をかければ、ある程度の偏差値がとれます。あまり偏差値が低いままですと、本来の実力より低い自己評価となり、モチベーションの低下に繋がってしまうからです。目標偏差値に相当する点数は必ず取ってください。

4年生は、国語と数学の平均点偏差値が低下しました。次の1月進研模試が重要です。ここで上がるか下がるかは、今後の受験に向けて重要な分岐点となります。現在の5年生のみなさんは1月進研模試で、7月から1.5ポイント偏差値をあげました。4年生のみなさんはここがふんばりどころです。学校で用意する講座や補習を最大限活用して、やれるだけのことにチャレンジしてください。

大学入試に向けた現在位置

下の図は大学入学共通テストの学習範囲をおおまかに表したものです。

5年生の皆さんは、英・国・数の範囲がほぼ終わっています。これからの時期は、模試を受けながら弱点分野の補強を行いながら、演習問題に取り組む時期なのです。4年生の皆さんも、大学入学共通テストの英・国・数の範囲の半分が終わります。今年1年の復習を行う上でも、1月の進研模試は重要です。下の図でそれぞれの現在位置を意識して、次のステップに踏み出していきましょう。

